北海道函館五稜郭支援学校
学校だより
第２号

共に歩んだ歴史に「感謝」
令和３年３月閉校

発　行　者
北海道函館五稜郭支援学校
Tel　0138-53-9395
校長　田　近　憲　二
令和２年度　第２号
令和２年 10 月５日（月）

「生徒一人一人の自立と社会での活躍を目指して」

教頭　青　木　　淳

数年前に東京へ出張した際、現在もドラマなどで活躍する、ある女優の方の講演を伺う機会がありました。

その方には、２人の子どもがいて、下の娘さんは赤ちゃんの時に脳梗塞を発症してしまい、左手と左脚にまひが残り、小学校までは特別支援学校に通学されていたそうです。

中学校からは、娘さんの強い希望により私立の中高一貫の学校に進学し、中高の６年間、家から駅まで一人で歩き、そこから電車に乗り、１時間以上かけて通学したそうです。

東京としては珍しく雪が積もった日のこと。

さすがに雪道では娘が転んでしまうだろうと心配したお母さんは、娘さんを車で学校まで送って行きます。お母さんは『私が車で送ってあげるのだから、娘は喜んでくれるだろう』と思って車を運転していました。

しかし、娘さんは車の中でムスッと不機嫌な顔で一言も言葉を発しません。

ようやく口を開いた娘さんは、「ママ、東京で雪が降るのは年に何日あると思う？貴重な雪の日だよ。雪の道がどうなっているのか、どう転ぶのか、経験できるのは、今日しかないかもしれないのに、ママはその機会を私から奪うの？ママは今まだ元気だから、私が転んだら助けてくれればいいじゃん。ママがおばあちゃんになった頃に私が転んでも、ママは私を助けられないでしょ！」と話したそうです。

このエピソードを聞いた後、自身の子どもたちへの指導を振り返り、雪の日に車で送ったことと同じ「転ばぬ先の杖」を出して、子どもが小さな失敗から立ち直る経験をするチャンスを奪ってしまっていなかったか、あのときもう少しだけ見守ってあげた方がよかったのかなどと反省させられました。

さて、本校では、先週までの職場実習Ｉ期が終了し、今日から後期が始まります。

実習期間中、生徒たちは困ったり悩んだりしたときに察して助けてくれる教員がいなかった実習先で、雪の日の娘さんが経験できなかった経験を大いに積んで、実習前よりも逞しくなって登校してきました。

12名の生徒にとっても、本校にとっても残り半年となりましたが、生徒の皆さんが社会に出たときの自立につながる、本校だからこそできる経験を一つでも多く積み重ねられるよう、更なる教育活動の充実を目指していきますので、保護者の皆様におかれましても、引き続き本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

前期の様子

演劇鑑賞会

７月 21 日(火)、劇団さっぽろのみなさんによる演劇鑑賞会を行いました。演目は、「五感で楽しむ短編演劇集」。落語で有名な「火焔太鼓」、太宰治の短編小説「葉桜と魔笛」、芥川龍之介の短編小説「魔術」の３作品が上演されました。それぞれが 30 分ほどの短いストーリーでテンポ良く台詞が進み、生徒達も楽しそうでした。あとで感想を聞くと、とても面白くて笑いたかったけど、笑っている人がいなくて困ったと話していた生徒もいました。

演劇鑑賞のあと、舞台裏など見せてもらうこともできました。みんなの前では質問できなくて・・・と、舞台の後片付けを行っている劇団員の皆さんのところにお邪魔させてもらったり、記念写真を撮ってもらったりと楽しい時間を過ごすことができました。

今年は新型コロナウイルスの影響で劇団の方に来てもらえないのでは・・・という不安がありましたが、劇団の方々が快く来校してくださって、座席の配置を工夫したり、換気を優先したりすることで無事に行うことができました。　　（文責:友善　史）

閉校記念スポーツ大会

７月 22 日（水)、「閉校記念スポーツ大会」を実施しました。例年は「スポーツフェスティバル」の名称でピロポロを実施していましたが、フェスティバルの名が“お祭り”、“遊び”といった意味合いが強いとの生徒の意見から、名称変更し、実施する競技も、人と人との間隔をとって競技ができるラージボール卓球としました。

実施においては、生徒一人一人の観戦席の指定、大声での声援の禁止、十分な換気など、新型コロナウィルスの感染リスク軽減のための条件はありましたが、生徒全員が、事前に説明したルールを守り、事故なく実施できました。

当日は、湿度も高かったため、水分補強をまめにしながら、シングルスの男女別リーグ戦で勝敗を競いました。生徒会執行部の生徒も開・閉会式の司会等で活躍しつつ、試合については、男女共、後半戦の順位が見えてくる頃になると、声援も多くなり、より真剣な表情で試合に臨んでいました。結果は、男子は、勝ち数が全員違う結果となり、わかりやすい順位となりましたが、女子は、１位と２位、４位・５位で勝ち数が同じ生徒がいたため、各試合で獲得した得点の合計で順位を決めました。　閉会式で賞状を受け取り、満足気な生徒、１勝もできずに悔しい思いをした生徒とさまざまでしたが、これから社会に出てもスポーツが余暇活動の楽しみの一つであればと願っています。　　（文責：鳴海　潤一）

部活動の様子

今年度の部活動は、３学年のみの在籍となり人数が少なくなりましたので、部活動の実施方法を変更し、希望する様々な活動を広く経験できるようになりました。

運　動　部

今年度の運動部は、密を避けながら色々な運動に取り組んでいます。臨時休業後は、運動不足の解消を目的に基礎トレーニングから始めました。体幹を鍛える運動を始め、色々な体作りの運動を行いました。さらには、トレーニングにプラスして、バドミントンを行い基礎の練習から試合まで行いました。夏休み明けのダンスでは、ＥＸＩＬＥの「Ｃｈｏｏ　Ｃｈｏｏ　ＴＲＡＩＮ」の練習をしました。ＤＶＤを見ながらの練習では、最初は慣れない動きに苦戦していましたが、回を重ねる中で動きを覚えて、みんなで揃えて踊ることができるようになってきました。暑い中、汗を流しながら頑張りました。ぜひどこかで披露する機会があればと考えています。今後の運動部では、剣道やテニポンなどさらに色々な活動をしていく予定です。　（文責：伊藤　美香）

音　楽　部

今年度の音楽部は、軽音楽にこだわらず、クラシックも含めた幅広いジャンルを扱うことにしています。そして、密を避けたり、飛沫が飛ばない工夫をしたりするなど、新しい生活様式を意識して活動しています。

今年度、これまでに音楽部で行った活動は、「お気に入りの曲を紹介♪」「ミュージカル鑑賞♪」「オススメの曲を紹介♪」の３つです。

「お気に入りの曲を紹介♪」の活動には４名の生徒が参加しました。自分が気に入っている曲（３～４）の音源を用意してみんなに聴いてもらった後にポスターを作成して掲示。なぜその曲を選んだのか、その理由も発表しました。「ミュージカル鑑賞♪」では、『アニー』と『ウエストサイド物語』を視聴しました。どちらの作品も非常に有名で昔から知られています。時間の関係で作品の一部のみの鑑賞となりましたが、迫力のあるシーンに興奮したり、素晴らしい音楽に感動したりしました。「オススメの曲を紹介♪」には、２名の生徒が参加しました。気分が落ちこんでいるときに聴きたい曲や仲間と一緒に楽しみたい曲などを紹介しました。

今後は、「演奏してみよう♪（歌＆打楽器）」を予定しています。　（文責：山崎　直子）

家　庭　科　部

家庭科部では、新しい生活様式に従いソーシャルディスタンスを保ちながら、できる活動を模索しながら取り組んでいます。

手芸部門ではバスボムやかご作り、ファスナー付きポーチなどを作りました。バスボム作りでは好きな香りのオイルを選び、重曹などの材料と混ぜました。部屋がとてもいい香りに包まれ、リラックスしながらの作業でした。

調理部門では、アイスクリームを作りました。塩と氷を入れた容器にアイスクリームの材料を入れた袋を入れ、ひたすら振り続けました。なかなか固まらずに腕が疲れてしまいましたが、できあがったアイスクリームはとてもなめらかで甘く、「おいしい！」と大満足でした。　（文責：厚谷　摩紀）

後期の行事予定

10月

５日（月）後期始業式
12 日（月）個別懇談（～10/23）

11月

３日（火）文化の日
７日（土）閉校記念交流祭・閉校記念式典
９日（月）振替休業日
23 日（月）勤労感謝の日
24 日（火）職場実習Ⅱ期（～12/11）

12月

１日（火）全校朝会
16 日（水）学校見学会
25 日（金）冬季休業前集会
26 日（土）冬季休業日（～令和２年１月 17 日）
29 日（火）～１月３日（日）学校閉庁日

1月

１日（金）元旦
11 日（月）成人の日
18 日（月）冬季休業後集会
20 日（水）３年学年末考査（～22 日）
28 日（木）漢字能力検定（放課後）

2月

１日（月）全校朝会
８日（月）個別懇談（～19 日）
11 日（木）建国記念の日
19 日（金）卒業を祝う会
23 日（火）天皇誕生日

3月

２日（火）卒業証書授与式
20 日（土）春分の日
26 日（金）ＰＴＡ・卒後支援振興会
　　閉校記念事業協賛会総会
31 日（水）閉校

北海道函館五稜郭支援学校
〒040-0001　北海道函館市五稜郭町39-13
TEL　0138-53-9395　FAX　0138-53-9397
goryoukakushien-z0@hokkaido-c.ed.jp
http://www.goryoukakushien.hokkaido-c.ed.jp/